＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
がん患者医療用ウイッグ購入費助成事業

1 事業概要

【目的】
　がん治療によって変化する外見への心理的負担を軽減するためのウイッグの購入に対して、その費用の一部を助成します。

【内容】
　がん治療に起因する脱毛によってウイッグを必要とし購入した熊谷市に住民登録がある方を対象に、１人につき１回限り、上限１万円の助成を予定しています。

【効果】
　ウイッグの購入に係る費用の一部を助成することにより、がん患者の経済的負担の軽減、療養生活の質の向上、就労継続等の社会生活を支援します。

2 特徴やPRポイント

　本市では、がんが死因別死亡割合の第１位であり、最も身近な病気となっていることから、市民の生命及び健康にとって重大な課題となっています。
　がん患者は、がん治療の副作用による外見変化により、自分らしさを喪失したり、他者との対等な関係性が変化する不安をもっています。
　ウイッグの購入に係る費用の一部を助成することにより、がん患者が社会とのつながりを維持し、生きる意欲を持ち続け、自分らしく生活できるよう支援します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　[無]　）

担当課　市民部健康づくり課　　担当　福島　稔
連絡先　℡048-528-0601　　内線　ー

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
かわまちづくり計画策定事業

1 事業概要

【目的】
（仮称）新市民体育館及び荒川公園の再整備に併せて、国と連携した荒川の河川空間整備の実現を目指します。

【内容】
河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指し、荒川河川敷の整備や利活用に関するかわまちづくり計画の策定に向けた検討を行います。

【効果】
荒川のより安全で有益な利活用として、市民や市外からの来訪者にとって安心かつ魅力的な空間形成を図り、地域の活性化や地域ブランドの向上を実現していきます。

2 特徴やPRポイント

（仮称）新市民体育館は自然豊かな荒川と多くの人が集まる熊谷駅の近くに位置しており、建設を契機に熊谷駅南口エリアと河川空間を融合させることで体育館と河川敷の利活用を促進し、賑わい創出を図ります。

3 その他

「かわまちづくり」とは、『河川空間とまち空間が融合した、良好な空間形成を目指す取組み』とされています。
「かわまちづくり計画」は河川管理者と共同で作成し、計画に基づいた支援施策を河川管理者から受けることができます。国交省が所管しています。

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　建設部河川課　　担当　北岡
連絡先　048－524－1111　　内線　354

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
9価HPVワクチン定期接種開始（予防接種事業）

1 事業概要

【目的】
予防接種法に基づく疾病のうち、政令で定められた対象疾病に対して伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために、予防接種を行い、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的とします。

【内容】
子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス（ＨＰＶ）の感染を防ぐため、ＨＰＶワクチン定期接種の接種機会を逃した方に対してキャッチアップ接種を継続するとともに、令和５年４月から、新たに９価ＨＰＶワクチン予防接種を定期接種として実施します。

【経緯・経過】
ＨＰＶワクチン定期接種の積極的勧奨の再開を受け、熊谷市では、ＨＰＶワクチン定期接種を令和３年１２月から実施しています。令和４年６月には、キャッチアップ接種を開始し、８月からは、令和４年３月３１日までに定期接種の年齢を過ぎて自費で接種した方への償還払いを実施しています。ＨＰＶワクチン定期接種は、２価又は４価ＨＰＶワクチンに加えて、令和５年４月から９価ＨＰＶワクチンの定期接種を実施します。

【効果】
９価ＨＰＶワクチンは、９種類のＨＰＶの感染を防ぐワクチンです。その中でも、子宮頸がんの原因の８０～９０％を占める、７種類のＨＰＶの感染を予防することができます。

2 特徴やPRポイント

９価ＨＰＶワクチン接種の定期接種化に伴い、対象者となる小学６年生から高校１年生相当の女子及び積極的勧奨を差し控えている間に定期接種の機会を逃した世代である平成９年４月２日から平成１９年４月１日生まれの女性へ予診票・リーフレット等個別通知します。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　市民部健康づくり課母子健康センター　担当　五十嵐、池田
連絡先　℡　048-525-2722　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
乳児個別健康診査（母子保健事業）

1 事業概要

【目的】
乳児健康診査を個別に医療機関で実施し、早期にかかりつけ医を持つことで、保護者が安心して子育てができるように支援します。

【内容】
現在、4～5か月児を対象とした乳児健康診査は、母子健康センターにおいて集団健診を月2回実施していますが、令和5年10月からは、保護者の希望する日に、近くの医療機関で受診できるよう一般社団法人熊谷市医師会に委託し、市内実施医療機関で個別に健診を実施します。

【効果】
乳児健康診査の個別化により、保護者が希望する日時、医療機関で受診し、併せて予防接種を受けることができるなど、保護者の負担を減らすことができます。
また、健診や予防接種を受けることで、かかりつけ医を持つきっかけとなり、安心して子育てできる環境づくりを進めます。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
集団健診では、感染症の感染拡大により健診日を延期をしたこともありましたが、市内実施医療機関で個別健診を実施することで、適切な時期に受診し、病気の早期発見や発育発達の確認ができます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　市民部健康づくり課母子健康センター　担当　宇田
連絡先　048-525-2722　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
任意接種費用助成事業

1 事業概要

【目的】
任意予防接種の一部を助成し、経済的負担の軽減を図り、市民の健康を支援します。

【内容・経緯】
対象となる任意予防接種は、平成２６年度から実施している大人の風しん予防接種、令和４年度から実施している造血幹細胞移植後ワクチン再接種の他に、令和５年４月から定期接種となる９価ＨＰＶワクチン接種について、令和４年度中に任意接種した方へ費用の一部助成を実施します。

【効果】
市民の健康保持増進に寄与するとともに経済的負担の軽減し、疾病及び感染症のまん延防止を図るものです。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
ＨＰＶワクチン定期接種の積極的勧奨の差し控えにより定期接種の機会を逃した方であって、定期接種の対象年齢を過ぎてＨＰＶワクチンを令和４年３月３１日までに自費で接種した方への償還払いを実施していますが、本市独自の施策として、令和４年４月１日から令和５年３月３１日までの期間に９価ＨＰＶワクチンを接種された方に対しても、遡って費用の助成を行います。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　市民部健康づくり課母子健康センター　担当　五十嵐、池田
連絡先　℡　048-525-2722　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
消防活動経費（器具購入費：災害用ドローンの導入）

1 事業概要

【目的】
災害時の迅速な被害確認及び情報収集

【内容】
大規模火災での延焼状況の確認、水難救助による人命の検索、自然災害等の被害状況の確認ができます。
また、有用な情報収集ツールとして活用し、二次災害防止や住民の避難状況を確認できます。

【効果】
災害発生初期に俯瞰的視点情報の収集が可能になり、被害状況及び災害推移の把握、さらに災害発生時の効果的な部隊運用につながります。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
赤外線カメラ、レーザー距離計を搭載
【ＰＲポイント】
映像伝送システムを活用し、各種端末で情報共有を図ることができます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　無　）

担当課　消防本部　警防課　　担当　警防係　棚澤
連絡先　048-501-0117　　内線

＜速報＞
令和5年度当初予算（案）概要
令和5年2月14日発表

熊谷市
記者クラブ取材情報（予算関連）

事業の名称等
中央分団・団本部小隊車庫建築事業

1 事業概要

【目的】
消防団を中核とした地域防災力の強化に伴い、装備の充実及び活動拠点施設等の改善が急務となっていることから、市民の安全向上に直結した防災拠点である消防団施設の整備推進を図るものです。

【内容】
昭和５６年の新耐震基準施行以前に建築された、老朽化が著しい中央分団車庫と同一敷地内に建築されている団本部小隊車庫を統合し整備を図ります。
⑴所 在 地：熊谷市宮町1丁目121番地
⑵概　　要：鉄骨造2階建て（1階：車庫、2階：待機室）
建築面積79.82㎡　延べ面積144.00㎡

令和３年度に設計、令和４年度に既存施設の解体工事を行っています。

【影響】
市民の安心、安全並びに公共の安全の確保に密接に関わる消防団活動に必要不可欠な施設を建て替えることで、より良い市民サービスの向上に繋がります。

2 特徴やPRポイント

【特徴】
同一敷地内の分団車庫を統合し、施設を共用することで活動環境の効率化が図れるほか、施設維持管理経費を削減することができます。

3 その他

※ 資料の有無（　有　・　(無)　）

担当課　消防本部警防課　　担当　消防団係　田中
連絡先　048-501-0117　　内線